

第二期小平市国民健康保険データヘルス計画 令和5年度実施状況の概要

1 計画について

(1) 計画の目的

データヘルス計画は、健康・医療情報を分析・活用し、効果的かつ効率的な保健事業を実施するための計画として策定している。

第二期小平市国民健康保険データヘルス計画においては、国民健康保険被保険者の健康増進及び医療費の適正化のために、「生活習慣・健康状態の把握」、「生活習慣の改善」、「医療機関への早期受診・適正受診」を実現することを目的としている。

(2) 計画期間

平成30年度から令和5年度までの6年間

2 実施状況について

事業	概要	実績
(1) 特定健康診査	内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した健康診査であり、未受診者に健康意識に合わせた通知を送付し受診勧奨を行う。 特定健診未受診者に対して集団健診の受診勧奨を行う。 人間ドック等の受診者に補助を実施。	送付後の受診率 40歳新規：28.7% 前年度未受診：48.0% (特定健康診査受診率：45.2%) 集団健診：684人 人間ドック助成：946件
(2) がん検診	がんの早期発見・早期治療を図るために検診を実施。 一部の検診は、特定健診と同時受診の勧奨を実施。	受診率(対象年齢の市民) 胃がん：4.4% 肺がん：5.0% 大腸がん：23.2% 子宮頸がん：15.8% 乳がん：17.5%
(3) 健診異常値放置者受診勧奨事業	生活習慣病関連の検査項目に異常値があるものに関わらず医療機関への受診が確認できない対象者に、各人の特性に合わせた受診勧奨を実施。	勧奨後の受診率：11.7%
(4) 特定保健指導事業	特定健康診査受診者のうち、メタボリックシンドロームに関する階層化基準が「積極的支援」または「動機付け支援」の該当者に保健指導を実施。	実施率：26.6% (令和6年5月末時点) (令和6年11月確定)

(5) 糖尿病重症化 予防事業	糖尿病患者のうち、糖尿病関連の検査項目値や治療状況から選定した対象者に対して、薬局薬剤師が主治医委の治療方針のもと多職種が連携して6か月の指導を実施。	人工透析移行者数：0人 HbA1cの値：0.2%減
(6) 多受診者指導 事業	重複受診者・頻回受診者、重複服薬者に対して面接指導と電話フォローを実施。	指導後の受診行動適正化率： 77.8%
(7) ジェネリック 医薬品差額通知 事業	先発医薬品の利用者のうち、ジェネリック医薬品通知により医療費の削減が見込まれる対象者へ送付。	平均ジェネリック医薬品 普及率：80.7%

3 今後の予定

令和6年9月30日（月）

市議会議員への情報提供、市ホームページでの公表